

これからの未来社会に求められる 支援機器システムの開発研究



研究概要

キーワード ロボティクス/生活支援/介護福祉支援/作業支援/制御工学

生活の質を向上させる総合的な支援機器の提案を目標とし、使用者からの多種多様な要求に応えるべく十分なニーズ調査をもとに、社会や暮らしに真に必要とされる機器システムと新たな価値を提案します。

ロボット工学を基盤に、問題の本質を捉え、ユーザーエクスペリエンスなインクルーシブデザインを実践しています。

- VR・MRを活用した脚力低下を予防するトレーニング機器の提案
- 認知症の人々を笑顔にする見守りロボットの開発と実用化
- 高齢者や介護者にやさしい住環境(スマートハウス)の構築
- 健常者も障がい者も共に楽しむことができるVRチェアスキーシミュレータの開発



VR型チェアスキーシミュレータ



脚力低下を予防する機器の社会実装



高齢者に優しい住空間の提案



農業作業を支援するロボットの提案

今後の展開やメッセージ

利用者の特徴や使用される環境を十分に理解するとともに、色々な分野の人たちを巻き込みながら一緒にモノづくりを実践しています。試作した機器は社会実装をして評価・検証を行い、ユーザーたちのフィードバックコメントをもとに改善を重ね、機器システムを提案します。

研究者情報



鈴木 亮一 教授・学長補佐・博士(情報科学)

工学部 ロボティクス学科
所属研究所：FMT研究所、
KIT×KAJIMA 3D Printing Lab

研究者情報URL

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/kyouinroku/a/JIAAC.html>
https://researchmap.jp/KIT_Ryoichi_SUZUKI